

○ 委員長報告

2月定例会本会議で報告された建設委員長報告は、以下のとおりです。

令和4年2月定例会

建設委員長報告

報告いたします。

当委員会に付託されました議案の審査結果は、お手元に配付されております委員会審査報告書のとおりでありまして、原案のとおり可決決定されました。

審査の過程では、一部の委員から、大規模な補正予算となっているが、概要はどうか。また、通常事業もある中、今回の大型補正に係る事業の執行についてはどのように考えているのかとただしたのであります。

これに対し理事者から、今回の補正予算は、国の「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を活用し、河川事業に約90億円、港湾海岸事業に約10億円、砂防事業に約52億円、道路改築などに約41億円、道路施設の老朽化対策などに約37億円など、合わせて約232億円となっている。

近年にない大規模な事業費であるが、防災・減災対策と県民の安全対策を推進する事業であることから、事業効果の早期発現が重要であるため、執行計画を策定するとともに適切な執行管理を行い、本庁と出先機関が連携して執行体制の強化を図り、円滑な工事執行を行うこととしている旨の答弁がありました。

このほか、通学路事故防止緊急対策事業、港湾海岸関係事業についても、論議があったことを付言いたします。

以上で報告を終わります。